

# 市民対話(第1回) 開催後アンケート集計結果(6/4時点集計)

回収率 76.7%

## 【集計について】

- ・市民対話のメンバー30名に依頼し、回答があった23名分について集計しています。
- ・無回答の設問がある方も集計対象としています。
- ・最も回答が多かった選択肢の回答者数(割合)部分を着色しています。(      )
- ・自由記入欄のご意見等は、回答を受けた順番に転載しており、文字を明朝体としています。  
なお、原則として、原文のまま転載しています。
- ・各設問の右上にある「n」の値は、各設問の回答者数です。

## 【追加の説明会について】

Q①：参加希望の有無について教えてください。

n=23

| 選択肢  | 回答者数(割合)  | 分布グラフ |
|--|-----------|-------|
| 1. 参加する  | 5人 (22%)  |       |
| 2. 参加しない<br>・行政側の深沢移転の趣旨は先日の説明で理解しました。ですので、追加説明会も行政からの一方的な説明であるならば参加しませんということです。 | 5人 (22%)  |       |
| 3. 日程があれば参加する  | 13人 (57%) |       |

Q②：日程の希望について教えてください。

n=18 (複数回答可)

| 選択肢   | 回答者数(割合)  | 分布グラフ |
|---|-----------|-------|
| 1. 平日の午前中   | 2人 (11%)  |       |
| 2. 平日の午後  | 3人 (17%)  |       |
| 3. 平日の夜   | 4人 (22%)  |       |
| 4. 土曜日の午前中  | 10人 (56%) |       |
| 5. 土曜日の午後   | 12人 (67%) |       |
| 6. 土曜日の夜  | 6人 (33%)  |       |
| 7. 日曜の午前中   | 8人 (44%)  |       |
| 8. 日曜の午後  | 7人 (39%)  |       |
| 9. 日曜日の夜  | 5人 (28%)  |       |
| 10. その他<br>・市役所の方の労働条件に余り負担にならない時間で結構ですが、平日夕方～8時頃迄が良いか?!な。<br>・先約があり、できれば6/3, 6/5, 6/6と6/7の午後は避けていただくとありがたいです。上記を避けなければいつでも。<br>・江ノ電や長谷経由のバスが土曜日祭日は混むので乗れないこともあります。時間も読めません。鎌倉市役所での開催も考慮いただけると幸いです。<br>・先約がない限りいつでも可。 | 5人 (28%)  |       |

Q③：詳しい説明を求める点について教えてください。

n=14 (複数回答可)

| 選択肢  | 回答者数(割合) | 分布グラフ |
|--|----------|-------|
| 1. 平成29年3月の移転を判断したところ  | 2人 (14%) |       |
| 2. 平成30年3月に移転先を深沢地域整備事業用地と定めたところ   | 7人 (50%) |       |
| 3. 整備にかかるコスト(180億円)について  | 8人 (57%) |       |
| 4. 整備が必要な面積(25,000～30,000㎡)について  | 6人 (43%) |       |
| 5. 深沢地域整備事業用地(行政施設用地)の安全性について  | 6人 (43%) |       |
| 6. その他<br>・今回の市民対話の結果が深沢移転案のどこまで参考にされるのか。<br>・今迄の市資料や公開されている資料にて把握できるので特に必要はない。<br>・基本的には、なぜ深沢でなければいけないかを知りたいだけです。深沢は鎌倉とは言えないと思っ<br>ている人が多いという意味です。ましてや、候補地は藤沢市の計画と混在するわけですから、「鎌倉独自の文化の発信が難しい」と思います。他の項目の妥当性は、素人ですから評価できません。<br>・この会議で移転先の是非についての議論をする機会があるものと思っていました。<br>・市の土地だけで計画しているのか？JRの跡地は購入済みなのか？財源の確保は？計画に借金は予定しているのか？市民の賛否のアンケートは実施したのか？ショッピング施設などは利用客の多い駅近に設置されている、新駅が不透明な中、深沢の少ない利用者数の場所に企画する集客の根拠は？<br>・どういうFSを行ったかー基礎数値も含む。＜資料＞公共施設再編についてP18の説明。<br>・特になし。 | 7人 (50%) |       |

【開催後アンケート本編】

Q1 : 次のうち今後の市民対話の参加に都合が良い開催日・時間帯はどれですか。 n=20 (複数回答可)

| 選択肢   | 回答者数(割合)  | 分布グラフ |
|---|-----------|-------|
| 1. 土曜日の午前中  | 10人 (50%) |       |
| 2. 土曜日の午後   | 15人 (75%) |       |
| 3. 日曜・祝日の午前中  | 7人 (35%)  |       |
| 4. 日曜・祝日の午後   | 7人 (35%)  |       |
| 5. その他<br>・ 平日5時以降2時間程度。<br>・ 原則どちらでもOKです。<br>・ 仕事の都合による。 | 4人 (20%)  |       |

Q2 : 市民対話への参加の動機を教えてください。 n=21

| 選択肢  | 回答者数(割合) | 分布グラフ |
|--|----------|-------|
| 1. 以前から本庁舎の整備に興味があった/過去の市民対話やワークショップに参加した  | 4人 (19%) |       |
| 2. 今回の募集内容を見て興味をもった  | 9人 (43%) |       |
| 3. 以前から公共施設の再編に興味があった  | 3人 (14%) |       |
| 4. 市政に参画したいから  | 1人 (5%)  |       |
| 5. その他<br>・ 今まで市民でありながら、この種の活動に無縁。市庁舎の移転も今回の件で初めて認識し、反省した。また、野村総合研究所の跡地が候補になっていたと知り、驚きました。(目の前に住んでいるのに...)何かお役に立てればと思ったため。 | 4人 (19%) |       |

Q3 : 本日の基本構想策定に向けたご説明はいかがでしたか。(出席者にのみ質問) n=17

| 選択肢  | 回答者数(割合) | 分布グラフ |
|--|----------|-------|
| 1. よく分かった  | 3人 (18%) |       |
| 2. (1.と3.の中間)  | 7人 (41%) |       |
| 3. どちらでもない   | 3人 (18%) |       |
| 4. (3.と5.の中間)  | 2人 (12%) |       |
| 5. よく分からなかった<br>・ せっかく神奈川大からの他市の庁舎の説明があったのにどう生かすかの説明がなかった。今後、どのように位置づけるかも説明なし。肝心の参加者に何を期待しているかの説明がなかった。「私は何をすればよいのですか」的な発言もでていた。 | 2人 (12%) |       |

Q4 : 今回の市民対話にあたり情報・資料などの対応はいかがでしたか。(出席者にのみ質問) n=17

| 選択肢   | 回答者数(割合) | 分布グラフ |
|---|----------|-------|
| 1. 十分   | 5人 (29%) |       |
| 2. (1.と3.の中間)   | 5人 (29%) |       |
| 3. どちらでもない<br>・ 神大のプレゼンの資料が欲しい。   | 4人 (24%) |       |
| 4. (3.と5.の中間)   | 0人 (0%)  |       |
| 5. 不十分<br>・ 資料の前に、この対話の意義、活動、着地への期待を語り掛けるべきであった。せっかく参加しているのに、どのように活動していくかの説明が皆無。そのため、せっかくの資料の意味、活用の仕方がわからない、あいまいになっている。資料以前の問題を感じた。<br>・ 経緯の部分がやや不足でしょうか。 | 3人 (18%) |       |

Q5 : 本日の現地見学はいかがでしたか。(出席者にのみ質問) n=17

| 選択肢  | 回答者数(割合) | 分布グラフ |
|--|----------|-------|
| 1. 役立った<br>・ お陰で安心しました。なるほど、ここしかないと思いました。ここを前提に基本構想を策定すればよいと思いました。 | 8人 (47%) |       |
| 2. (1.と3.の中間)  | 3人 (18%) |       |
| 3. どちらでもない   | 5人 (29%) |       |
| 4. (3.と5.の中間)  | 0人 (0%)  |       |
| 5. 不要だった   | 1人 (6%)  |       |

Q6 : 本庁舎の基本構想の検討に当たって、関心がある分野はありますか。

n=22 (回答3つまで)

| 選択肢   | 回答者数(割合)  | 分布グラフ |
|---|-----------|-------|
| 1. 市民交流   | 5人 (23%)  |       |
| 2. ユニバーサルデザイン・バリアフリー  | 6人 (27%)  |       |
| 3. 防災対応   | 12人 (55%) |       |
| 4. 環境対応   | 5人 (23%)  |       |
| 5. 窓口サービス   | 7人 (32%)  |       |
| 6. 効率的な事務スペース   | 6人 (27%)  |       |
| 7. IT化・電子行政<br>・ 金ではなく、アイデアでモデルになるようなものを目指す。  | 11人 (50%) |       |
| 8. 効率的な施設管理   | 5人 (23%)  |       |
| 9. その他<br>・ 公共交通機関など、人を呼び込む方法について関心があります。<br>・ ②“効率的な施設管理”の!の意味することが具体的にどうゆう事なのか分かりづらい。<br>・ まずは、鎌倉市民が誇りに思い、他市からも見学にくるようなシンボルとしての本庁舎であるべき。それ以外は、当然のMUSTな項目。誰にでも愛される本庁舎を、特別な金をかけず、市民参加のボランティアで構想を作ればそれだけで話題になるはず。鎌倉市民には鎌倉を愛し、好きな知識人が多数いる。今回の参加メンバーを通じてでも良いのでもっと参画してもらおうべき。見返り(お金)を求めず、さらに、鎌倉市民でなくても鎌倉の新庁舎をつくるのであれば、無償で協力してくれる人も多いはず。鎌倉市民による、鎌倉市民のための、鎌倉を愛する人々とともに構想した本庁舎ができれば、皆、見学にくる。 | 5人 (23%)  |       |

Q7 : その他、ご意見がございましたらご自由にご記入ください。

- ・ 高機能、省エネ、コンパクトで効率的なスペースで旧市街では出来ない観光資源としてもなり得る経済性の高いフレキシブルな施設になると良いですね。
- ・ 神奈川大の発表では、「印象にのこる市庁舎には、市民の愛情を感じずる」が感想です。基本構想の前に「鎌倉を愛する象徴になるような庁舎を目指す」ことを参加者で共有したいです。
- ・ せっかく、これから作るので、「世界に誇れるIT活用の市庁舎」を目指すべき。  
ーしかも、金をかけず(鎌倉を好きな協力者を参加させ)に実現する。  
ーサイバーセキュリティのモデルにしてもらう等。
- ・ 日産自動車が銀座から横浜市に本社を移転するにあたり、ゴーン氏は「世界には本社がいっぱいある。モデルになる本社はどれか調べよ」と指示「インドのインフォシスの本社がモデルになる」と報告されたこのモデルにより、大幅なコスト削減が実現できて、立派な本社をつくってもお釣りが来たという。
- ・ 鎌倉市にとってモデルにすべき市庁舎は何なのか、どこなのか、があれば基本構想の策定活動がブレないと思います。
- ・ 幾人の方から質問が出ました、深沢へ決まった手順が不透明に感じていた。この会議でもう少し深い議論があると思っていました。したがって、再度の説明が必要でしょう。財政的な裏づけの説明がほとんどないが……。
- ・ 1) 深沢移転決定の根拠が明確ではない。  
市民合意。立法である市議会の承認の根拠が明確でない。  
「深沢決定は絶対後戻りは無い。」と部長さんが最後に断言していた根拠を知りたい。
- ・ 2) 予算も決まらないし市民合意も無く、行政としての 「新しくカッコいい市庁舎が欲しいという企画」だけが先行している。ように感じた。
- ・ 3) 市庁舎の学生発表は、コンセプトを掘り下げないで、単に新しいカッコいい企画をチョイスした、「絵に書いた餅を羅列」しただけで、市民を馬鹿にしていると感じました。(学生は初々しいし、こんなに素敵な市庁舎っていいでしょう?という市民への印象操作でしょうか?)  
学生の先生も「都市計画には企画が必要と教えている段階」と述べておられました。  
都市計画は「建築物」や「カッコいいフレーズ」じゃなくて、中身が大事。  
各市町村の特性。事情などを深く掘り下げないと一律には語れない。  
鎌倉市民にとって、ウェルネスってなんぞや?生活や暮らしとの関係は?  
建物よりそこでしょう。なんで学生発表会にしたのか、その根拠も知りたい。  
「市民がどのように、企画で変わった市庁舎を暮らしの中に取り入れているか」  
「市民にどのような利があったか」「どのように市民が活性化したか」

【次ページへつづく】

市庁舎を含む都市計画は、絵に書いた餅の生活の実態が感じられない企画会社の死んだ企画より、「市民目線での暮らしの実態のある生きた企画」が必要。

かえって、これでは一昔前の、コンサルタント、企画会社中心の、かね喰い虫型の古い都市計画を市の財源を使って企画しているように感じてしまいます。

- 4) 一見マイナスと思われるネガティブ情報も、Q and A 形式で広報に出した方が市民理解を得やすい。市民合意を形成してから、深沢移転決定をしたほうが無理が無いのでは。
  - 5) 無作為抽出の市民対話は一見民主的に見えますが、「全市民が自由に参加できる意見交換会」もやるべき。開かれた丁寧な説明が、遠回りにみえても、実は問題を解決に導きます。行政と市民の市庁舎移転必然性の理解度の乖離があるなかでの、「180億の市民の税金」に関わる大きな問題なので、特に「差し迫った必要」を感じます。(市民は都市計画だけ考えていればいい行政の立場ではなく、保育園。ゴミ問題。渋滞。インフラ。福祉、、、様々な暮らしの問題を抱えた中で180億です。よほどの丁寧な合意が必要となります。)
- ・ 鎌倉市庁舎を建て替えなければならないことは、誰でも理解していると思いますが、今回の対話集会は深沢ありきから出発しているので、多くの参加者が違和感を感じたのだと思います。民主主義とは時間がかかるものです。新市庁舎はどうあってほしいか(必要な施設、スペースなど)を今回参加者の間で議論してもらって、その姿にあう場所はどこかというチャレンジもありではないかと思えます。深沢ありきの補足説明会は、開催しても行政の一方的な説明だけでは、参加者は満足しないと思います。現市庁舎建て替え派、大船地区派の代表の意見も参加者は聞きたいと思えます。
  - ・ 若い世代(今の30代まで)がどのようにしたいかを一番大切に考えるべき。彼らの判断のお役に立てればという考えで参加しています。
  - ・ 現状の鎌倉駅周辺は行政地区、商業地区、観光地区が一体でコンパクトな反面込み入った感じがします。行政地区を深沢地域にすることは行政地区と他の地区の分離及び防災面、環境面でも良いことと思えます。建築上の制約がなければ、3階建て、4階建て等の検討はいかがですか。また、ゴミの焼却施設も発電と熱併給システムとして早期に完成していただくよう要望致します。
  - ・ 前回の感想として、今回の集まりはユニバーサルデザインなどのどのような市庁舎を作るかの会議だと思っていたのだが、この認識はあってるのだろうか？また、この認識があっているなら、新市庁舎が何処になると新市庁舎の構想という会議には関係ないのではと、思った。
  - ・ 日程を出来るだけ早めに出して頂けるととても助かります。色々なご意見の方がいらっしゃって大変だと思いますが、頑張ってください。次回もどうぞよろしくお願い致します。
  - ・ 今回は予想しなかった質疑と発言が多く、H28年市民対話参加者としては困惑しました。広報紙、タウン情報、ラジオ、ホームページ、市長選であれほど取り上げられたのに、移転先が深沢であることへの不理解は何が原因なのか。でもたまたま自分は初期参加者だったからこのテーマにアンテナ張るようになったが、そうでなければ同じような疑問をもったかもしれない。多くの市民は本庁舎の建て替えと移転はともかく理解できるけど、移転先となると、歴史を重んじ意識が高いと言われる鎌倉市民にとっていささか複雑で重大な議題になるものだと感じました。私が今回参加したのは市民対話はH28年6月すでに取り組みが始まっていたことを今回のメンバーと共有したかったから。しかしいざその合意に至った経緯について説明できるかどうかという、まだまだあやふやな自分がいます。本庁舎整備は一大事と再認識。市民対話が市民と行政の対話になったり乗り越えることは多いけど様々な側面からの努力で認識と合意のズレは埋めて行けると信じてます。
  - ・ 建設費用の返済はどの様にされるのでしょうか。お金を生み出す事業を創造された方がよいかと存じます。
  - ・ あのようなアンチ系だったり話の論点がずれてしまう方々と、未来に向かって前向きな対話ができるとは思えません。